

はじめよう、エコライフ！エコオフィス！

CO₂削減のため以下の項目に取り組みましょう！（チェック欄へ☑）

● 家庭でできる「ちょうふエコライフ」

主な取組項目	年間削減効果 (kg-CO ₂)	チェック 欄
エアコンの設定温度に配慮する(夏季 28℃, 冬季 20 度に設定)	37.7	<input type="checkbox"/>
こまめな消灯やコンセントを抜く	60.0	<input type="checkbox"/>
買物にはエコバッグを持っていく・包装の少ない詰替できるものを選ぶ	58.0	<input type="checkbox"/>
エコドライブの実施	344.2	<input type="checkbox"/>
ノーマイカーデーの実施	118.5	<input type="checkbox"/>
近い場所へは徒歩又は自転車で移動する	368.0	<input type="checkbox"/>
洗濯には風呂の残り湯を利用する	7.0	<input type="checkbox"/>
白熱球を蛍光灯に変える	114.3	<input type="checkbox"/>
エアコンを使わないで自然の風を入れる(冷房を 1 日 2 時間短縮する)	17.0	<input type="checkbox"/>
エアコンのフィルターをこまめに掃除する	14.5	<input type="checkbox"/>
緑のカーテンを育てる	40.0	<input type="checkbox"/>
シャワーは不必要に流したままにしない	27.0	<input type="checkbox"/>
入浴は間隔をあけずにする	87.0	<input type="checkbox"/>
トイレの蓋を閉める(温水洗浄便座の場合)	15.8	<input type="checkbox"/>
廃プラスチックをリサイクルする	48.0	<input type="checkbox"/>
野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する	13.0	<input type="checkbox"/>
残ったご飯を炊飯器で保温しないようにする	13.5	<input type="checkbox"/>
ライフスタイルを早寝早起き等に転換する	0.7	<input type="checkbox"/>
不必要な食料品、衣料品、家電製品を購入しない	75.0	<input type="checkbox"/>

※年間削減効果の単位は kg-CO₂/世帯(蛍光灯は3個で算出)
 ただし、「エコドライブの実施」「ノーマイカーデーの実施」の年間削減効果は kg-CO₂/台
 ※イラストの一部は環境省「地球温暖化パネル」全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より引用

● 事業所でできる「ちょうふエコオフィス」

主な取組項目	年間削減効果 (kg-CO ₂)	チェック 欄
空調機の設定温度を夏季 28℃、冬季 20℃にする	82.8	<input type="checkbox"/>
空調機のフィルターを月 1～2 回は掃除する	28.3	<input type="checkbox"/>
空調機の使用時間を 1 時間短縮する	41.4	<input type="checkbox"/>
長時間離席する時は、パソコンの電源を OFF にする	21.4	<input type="checkbox"/>
白熱球を蛍光灯に替える	241.8	<input type="checkbox"/>
従来型蛍光灯を高効率蛍光灯に替える	69.0	<input type="checkbox"/>
蛍光灯を LED に替える	259.0	<input type="checkbox"/>
高効率の空調機を導入	675.0	<input type="checkbox"/>
高効率給湯器の導入	206.3	<input type="checkbox"/>
太陽光温水器の導入	495.0	<input type="checkbox"/>
太陽光発電設備の導入	3,100.0	<input type="checkbox"/>
省エネ型の自動販売機の導入(転換)	1,003.0	<input type="checkbox"/>
近い場所へは徒歩又は自転車で移動する	184.0	<input type="checkbox"/>
エコカーに替える	732.0	<input type="checkbox"/>

※年間削減効果の単位は、kg-CO₂/事業所(空調機・パソコンは2台、蛍光灯・LEDは5本で算出)。
 ただし、「省エネ型の自動販売機の導入(転換)」のみ、kg-CO₂/台
 ※家庭でのエコライフ活動と年間削減効果が重複しているものは省略しています。

概要版

調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

みんなでかえる！ くらしまちきもち

～目指せ 低炭素なまち ちょうふ～

地球温暖化は、私たちの身近に迫っています。
 過去100年間で世界の平均気温は0.74℃
 上昇し、将来的に異常気象や健康など、私たちの
 日常生活に様々な影響をもたらします。
 地球温暖化問題は、早急に対応しなければなら
 ない問題であり、行政のみならず、市民、事業者
 など、一人ひとりと協働による取組が重要です。



調布市では、市民・事業者・学識経験者・
 市職員からなる委員会を設けて、
 『調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』
 を策定しました。
 計画の期間は、平成22(2010)年度から
 平成32(2020)年度の11年間です。

平成22年3月
調布市

登録番号
(刊行物番号)

2009-267

調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要版

編集・発行 調布市 環境部環境政策課 (〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1)
 TEL: 042-481-7086～7 FAX: 042-481-7550 E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp



みんなでかえる！くらしまちきもち

～目指せ 低炭素なまち ちょうふ～

3つの柱

1. 使わない！減らす！

⇒必要なものだけを購入し、大切に使う

エネルギーを使わずに、廃棄物を発生させずに社会生活を営むことはできません。地球温暖化問題の重要性を理解した上で、不必要なエネルギーは「使わない」、無駄な消費を「減らす」、また、「必要なもののみを購入」し、省エネと資源の有効利用に取り組むことが、重要となります。

2. かえる！

(変える・替える・代える・運る)

エネルギーを使わない、あるいは廃棄物を発生させないように我慢して生活することはできますが、これでは長くは続きません。

新しい時代に相応しい新しい技術を積極的に活用し、調布らしいライフスタイルや新しいビジネスモデルにかえる必要があります。

3. 参加する！

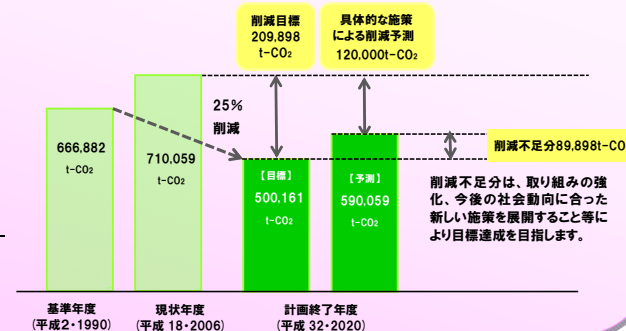
「低炭素なまち」は、省エネ活動や地球環境問題に関心の高い、一部の人たちだけの取組で実現できるわけではありません。市民一人ひとりの取組が重要です。

ひとりでも多くの方々に参加してもらい、共に支えあってこそ、快適で、自然豊かな「低炭素なまち」になります。

調布市は 25%削減 にチャレンジします！

基準年度（平成2・1990）比で
現状年度（平成18・2006）から
計画終了年度（平成32・2020）までに
25%削減（209,898 t-CO₂）を目指します！

削減目標と施策の削減予測について



施策 1: ちょうふエコライフの推進

削減効果
30,000
t-CO₂

市民一人ひとりが「できることから行動する」ことを支援します！

●情報提供の充実・啓発活動の推進

幅広い内容の情報を提供し、取組を活性化させます。

●推進の仕組みづくり

優秀な取組を表彰する制度の検討等により推進していきます。

●レジ袋削減の取組



施策 2: 省エネ機器・設備の導入促進

削減効果
64,000
t-CO₂

省エネ型の家電製品や、太陽光発電設備等の新技術の導入を積極的に促進します！

●情報提供の充実

省エネ機器のメリットを、具体的かつわかりやすく周知していきます。

●導入促進の仕組みづくり

社会状況に応じて、省エネ機器・設備の補助制度についても、検討していきます。



施策 3: ちょうふエコオフィスの普及・拡大

削減効果
8,000
t-CO₂

既に市が実施している「エコ・オフィス認定制度」の認定事業者を中心に、普及・拡大を図っていくことを検討します！

●情報提供の充実・啓発活動の推進

具体的な取組項目を積極的に情報提供し、活動に関心を持ってもらえるよう努めます。

●普及・拡大の仕組みづくり

事業者の動機づけとなるよう、「CO₂を削減すればするほど得する仕組み」等を検討します。



施策 6

:地域でのちょうふエコチャレンジの展開

地域の取組として、公民館や学校等で、省エネ活動、緑化活動、環境講演会の開催等により、具体的な行動を促す取組を推進します。

●活動状況・結果の報告・公表

活動の実施状況や成果は、各種発表会等、多くの人に報告する機会を設けます。

●省エネ意識を高める仕組みづくり

表彰制度の実施や削減量に応じて取り組む側に予算を還元する仕組み等を検討します。



施策 5: 公共施設のエネルギー削減

削減効果
1,000
t-CO₂

省エネ改修を積極的に実施し、公共施設から排出されるCO₂を抑制します。

●省エネの取組

省エネ診断やエネルギーの「見える化」等で使用エネルギーの把握・削減に取り組めます。

●省エネ改修の仕組みづくり

公共施設の新築・改修等の際には、高効率の設備や新エネルギーを導入するなど、仕組みづくりを検討します。

●環境マネジメントシステムの継続・充実



施策 4: 大規模事業所における

CO₂削減の推進

削減効果
17,000
t-CO₂

大規模事業所が削減に積極的に取り組むことができるよう、情報提供等の推奨活動を行います。

●削減支援の実施

削減対策等の情報の共有化を図るための、ネットワークの構築を検討する等、各事業所が効果的に削減義務を達成できるよう支援活動を実施します。

